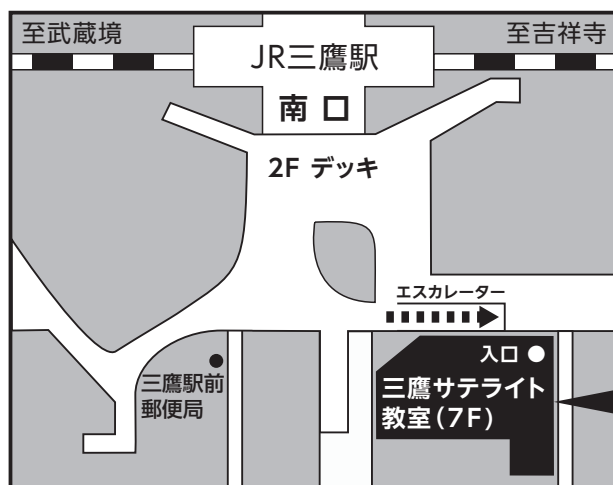


日本仏教の流れから学ぶ

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	_____				
講座概要	曜 日	水曜日			日 程 7月19日 8月9・30日 9月13・27日
	時 間	15:00～16:30			
	回 数	全5回	定 員	40名	
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講 師	福泉寺住職・本願寺派布教師 小笠原 博慧 (おがさわら ひろとし)				
	1941年生まれ。1965年、私立高校教諭(漢文)。1974年、公立高校教諭(国語)。1994年、武蔵野女子学院高校教頭。1999年、同中学・高校校長。その間1975年、國學院大學講師(漢文学)。1982年、市立大月短期大学講師(文学、日本語)。1988年、武蔵野女子大学講師(仏教学、日本仏教史)。同大学仏教文化研究所所員。1988年、福泉寺住職。				
内 容	明治期になると維新による新政府の天皇中心の執政により、宗教界も激動の時代を迎えた。1868年(明治元年)に出された王政復古・祭政一致の精神にもとづいた“神仏分離令”によって、寺と社との分離措置がとられ、“廃仏毀釈”運動にまで至った。しかしこれは政府の意図ではなかった。 仏教の旧弊を反省し覚醒にのりだす者もあらわれ、大きな転機となった。一方、江戸末期の新宗教(一次)につづき二次的な運動も始まった。またキリスト教の再来による影響もある中で、新たな仏教の提唱もなされた。 一つは、自己内観を専らとする傾向、一つは、社会革新をめざす傾向であった。そんな複雑さも増した近代仏教の苦難を学ぶ。				
	① 7月19日	明治仏教の進展			
	② 8月 9日	・ 新宗教の提唱			
	③ 8月30日	・ 日蓮主義運動			
	④ 9月13日	・ 国威発揚と仏教界			
	⑤ 9月27日	・ 第二次新宗教			



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。